

令和5年度 第4回青梅市スポーツ振興審議会議事録

日 時

令和6年1月16日（火） 午後2時00分～3時30分

会 場

青梅市役所3階教育委員会会議室

出席者

（委 員）

森田会長、杉山副会長、神尾委員、武藤委員、山本委員、小花委員

（事務局）

橋本教育長、森田部長、吉崎課長、野島係長、鈴木主任

欠席者

渡辺委員、神野委員、市川委員

傍聴者 なし

進行：吉崎課長

傍聴および議事録について吉崎課長説明

吉崎課長が会議の成立を宣言し開会

1 あいさつ

- ・森田会長
- ・橋本教育長

2 諮問について

- ・橋本教育長から森田会長へ諮問書を読み上げ渡す。
（諮問）青梅市スポーツ振興基金条例に基づく援助について

3 報告事項

- (1) スポーツDAY青梅2023開催結果について (P.1)
- (2) 第85回奥多摩溪谷駅伝競走大会開催結果について (P.2)
- (3) 第56回青梅マラソン大会の開催について (P.3)
- (4) 青梅市スポーツ振興基金について
 - ・事務局による資料の説明(1)～(4)一括説明
 - 質問事項なし

4 諮問事項

- (1) 青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助について (P.5)
 - ・事務局より説明
 - すべての申請について、承認

- (2) 第2期青梅市スポーツ推進計画の策定について (P.9・別紙)
 - ・事務局より説明
 - (委員) パブリックコメントはどのように公表される予定か。
 - (事務局) 青梅市教育委員会のHPに、「市の考え方」とともに公開予定である。
 - (委員) 「市の考え方」について、具体的な検討期限や、回答の根拠を追記したほうが良い。
 - (事務局) 根拠等を追記し、より丁寧な回答を作成したい。

 - (委員) パブリックコメントの結果、計画の内容を修正した箇所を教えてください。
 - (事務局) 27ページに、今後検討する取組例として、スポーツ指導者およびボランティア養成に関して追記している。

 - (委員) 運動広場などの施設整備に関しても、計画内に基準を示してはどうか。
 - (事務局) 施設整備に関しては、本計画とも並行しながらも、スポーツ施設ストック適正化計画に基づいて、推進していきたいと考えている。

(委員) 国が策定している第3期スポーツ基本計画の方針には基づいているか。eスポーツなど、新しい観点も入ると良い。

(事務局) 3つの新しい視点など、第3期スポーツ推進計画の方針に基づいて作成している。本計画では、意識的に行う身体活動をスポーツとして捉えており、eスポーツにも言及している。また、スポーツ DAY 等のイベント内でも、実際にeスポーツ体験の場を設けている。

5 協議事項

(1) 青梅市スポーツ振興基金条例施行規則の改正について (P. 15)

・事務局より以下の提案について説明

①表彰対象となる大会に、パラスポーツに関するものを追記

②援助上限の増額

(委員) 表彰に値する競技スポーツの大会であるかどうかは、最終的にはどのように判断するのか。

(事務局) 申請があった大会について、主催団体へ直接確認をとったうえで諮問資料を作成し、審議会に諮らせていただく形になる。

(委員) 判断基準のひとつの参考として、

○参加選手が、その大会組織に登録されているか

○競技結果が公式の記録として残るかどうか

があげられる。

(委員) 表彰以外にも、選手指導や育成など、幅広い援助ができると良い。

(事務局) 現状の援助規程においても、講習会や教室等の普及事業や大会を主催する際などの援助も可能となっている。

ぜひいろいろなアイデアをいただき、審議会了承のもと、基金をスポーツ振興に活かしていきたい。

(委員) 援助上限額の引き上げも妥当な金額と思うが、いかがか。

→委員了承

(2) その他

- ・特になし

6 その他

(事務局)

ここで委員の任期（2年）が終了となる。改選の手続き等については、4月以降別途ご連絡させていただく。

閉会

※ 参考資料

青梅市スポーツ振興審議会条例（参考1）

青梅市スポーツ振興基金条例（参考2）

青梅市スポーツ振興基金条例施行規則（参考3）

青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰基準（参考4）

青梅市スポーツ振興審議会の会議の公開に関する取扱要綱（参考5）